



伊方町 編集長 室 所 印刷所 尾上 印刷 電話 0878-22111

心に誓おう

無事故・無違反

わたくしは町民の願いは「交通事故ゼロ」。
しかし、それにもかかわらず、事故はいつどこにへりません。それどころか、町内の交通量は過去にはかつてない激増ぶりです。

○運転者のみなさん
子どもおとしよりを見たら必ず徐行してください。
スピードの出すぎる徐行違反による交通事故が、へん多くおこしています。

○歩行者のみなさん
小さな子どもは交通の危険から自分を守ることはできません。地域ぐるみで子どもを事故から守りましょう。

またお年寄りの事故で最も多いのが道路を横断中の事故です。この新国道は、建設が昭和四十四年から調査を開始し、現在工事を進めているもので、町内でも

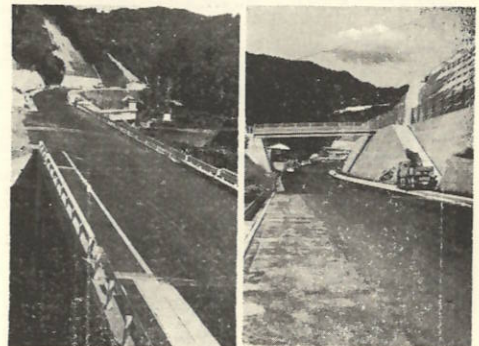


みんなの願い交通安全!

ことし4月開所しました川永田保育所の子どもたちが、交通安全パレードを行ないました。「こうつうあんぜん」とかかれた黄色のタスキをかけ、手に手に楽器を持ち演奏してまわり、沿道の人々から盛んな拍手をうけました。また、「徐行ありがとう」の折紙をつくり、運転者1人ひとりに手渡し、交通安全を訴えました。

伊方=保内ひとまたぎ

国道バイ・パス (河内~保内間)が完成



十月二十一日開通式

10月21日開通をめざし急ピッチで舗装工事が進められ、センターラインの線引き等の仕上げ作業を残すのみとなっています。(線引きは10月17日ごろ) 交通事故防止のため横断歩道橋も設置されました。(写真右)



トンネル内はナトリウム灯がとりつけられています

か、スクールゾーン内のため幼児園児、生徒、一般の方々の交通事故故から守るとともに、ドライバーのための適切な交通安全対策を抜本的に整備する必要があります。また、信持橋の改良工事、舗装工事を含めて八千三百八十万円の費用を投入し伊方町の表玄関にふさわしい道路を整備されました。

町では中央公民館から役場横まで間の事故防止施設として道路案内標識、カーブミラー、道路照明灯、ガードレールの新設を具、建設省大洲工務事務所と相談のうえ整備する計画です。

この広報がみなさんの家庭へ届くころには、既に開通式も終え供用開始されていることでしょうか。(各家庭配付が十月二十四日(十五日ごろ)のため)

心配な

交通事故多発

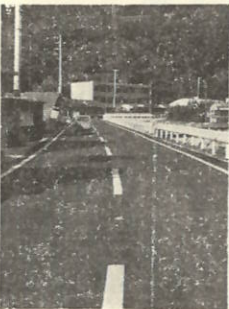
新国道が供用開始されるのたりの経済効果は大きい反面、頭痛のタネは交通事故の多発です。特に本町の中心地である湊浦の交通形態は変し、特に仁田之浜、中之浜、大浜の海岸線の国道を走っていた車輛はこの新国道を利用しL字型交通形態となることは必定です。

町道も拡幅

新国道が供用開始されるにあたり、町道もいち早く町道伊方宮内線の用地買収と拡幅工事(河内五本橋~中央公民館前まで)を行ないました。

延長五百五十メートル間を道路幅員七メートルに改良し、新国道と同じ車線とし、道路両側に路側帯を設けました。

路面を全面舗装すると同時に、道路照明灯五カ所、カーブミラー病院等があるほ



のぞみ

新国道の早期完成

この湊浦集落内を通過する交通の緩和をはかるためには、やはり一日も早く新国道が完成することです。

同日教育委員会が開かれ町民とも再任されたものです。このうち生活安全基金の貸付について紹介いたします。

生活資金 11万円 六カ月 療養資金 15万円 一年 災害資金 20万円 一年

再任

町教育委員長 栗田氏 再任

生活安定 資金できる

委員

教育委員 高月氏 再任

選管委員長に 山岡氏

また交通形態もかわり集落内を通過しないですむわけです。町民長年の願望であり、三崎半島の大部分である新国道がみんなの相互理解のもとで、日も早く夢を実現のものにしたいたいです。



